

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	舞見田地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県・延岡市	450006	1	平成21年度～ 平成25年度	平成21年度～ 平成25年度
活性化計画の区域				
舞見田地区(宮崎県延岡市北川町)				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B / A	備考
定住等の促進に資する担い手への農地利用集積	21.1%	27.4%	130%	

(コメント)

目標である「定住等の促進に資する担い手への農地利用集積」については、事業における担い手への農地利用集積増加率等実績値が27.4%となり、目標値の21.1%を達成できた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
区画整理	区画整理 A=9.5ha			延岡市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
延岡市	平成21年度	平成25年度	平成26年4月1日	
事業の効果				
区画整理事業の実施により、農地の集積による大区画化を行い併せて農道を改良し大型機械の導入を可能にしたことで営農形態の改善を図り、用・排水路の分離及び用水路のパイプライン化で水管理が容易になり、維持管理費・営農労力が節減するとともに、優良作物等の導入による生産性の向上及び農業経営の安定化を図ることができた。				

3 総合評価

(コメント)

区画整理を行うことにより農地の集団化が図られ、農業機械の効率的な運用が可能となった。また、パイプライン・排水路の整備を行うことで、水管理を適切に行えるようになるとともに、台風等による土砂堆積被害等も抑止でき、営農労力の節減が図られるものと考えられる。こうした事業の結果により、安定した生産基盤を確立でき、担い手農家の育成が図られるものと期待される。

4 第三者の意見

(コメント)

当地区は、営農集団による農作業の受託も行われているが、農地の区画が零細で、農道の幅員も狭いため、大型機械の導入もできず効率的な営農が行えない状況であった。区画整理事業の実施により農地の大区画化が進み、用排水路のパイプライン化を行うことで水管理も容易になり、営農コスト節減にもつながった。担い手への農地利用集積増加の目標も達成でき、今後新たな営農形態の確立による地域活性化が進むと期待される。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。